

真っ当な人が成功し 生きていける世の中を

東京中小企業投資育成株式会社 代表取締役社長

望月 晴文

新年のごあいさつ

新年明けまして
おめでとうございます



撮影=加々美義人

予測不能な国際情勢のなか経済は好調

昨年の世界経済は、好調な米国経済と、中国経済が立ち直り安定成長軌道に乗ったことなどを軸に、総じて好況感に包まれて推移しました。

欧州も英国のEU（欧州連合）離脱交渉が進捗せず、先行きに不安定要因を多く抱えている割には、景気の後退感を感じられないようです。

翻ってわが国も、多くの企業の収益は好調、税収も増加し、失業率も空前の低水準で、人手不足が地方にまで広がっています。まだ消費の伸びや、物価の上昇が低く、デフレ脱却とはいえないものの、景況感はいへんいいと言わざるを得ません。

世界の繁栄を揺るがす米国の政策転換

他方、国際政治情勢は多くの深刻なリスクを抱え、たいへん不安定、予測不能な状況にあるといふべきでしょう。

もともと、これまで世界のさまざまなルールの確立を主導してきた米国が、トランプ大統領の「米国ファースト」という内向き政策への転換により、世界の非常に基礎的なルールへの変更を迫っている様相となっています。特に顕著なのは貿易や経済にかかわるルールの動揺です。NAFTA（北米自由貿易協定）の見直し、TPP（環太平洋経済連携協定）から離脱し二国間でのFTA（自由貿易協定）交渉重視への移行、どうかするとWTO（世界貿易機関）からも離脱しかねない勢いです。英

国のEU離脱も交渉は遅々としているものの転換する方向にはありません。

気候変動問題でも米国はパリ協定から離脱するといいますが、これまで長い時間をかけて醸成してきた国際コンセンサスが根本から覆ることになりかねない状況にあります。

これらのことは、国際的にできるだけ開かれた市場をつくるのが世界の繁栄をもたらすという国際経済学の公理や、地球環境を守ることが人類共通の課題であるという命題の根幹が揺らいでいることのあらわれかもしれません。

核という「ダモクレスの剣」の下で

安全保障問題も超大国・米国の本土をミサイルや核弾頭で威嚇するという危険極まりない挑戦がおこなわれています。

言ってみれば、世界経済の好調は国際政治の抱えている途方もない数多くのリスクの上に辛うじて保たれているということでしょう。

1961年の国連演説でケネディは「地球のすべての住人は、いずれこの星が居住に適さなくなってしまう可能性に思いをはせるべきであろう。老若男女あらゆる人が、核というダモクレスの剣の下で暮らしている。世にもか細い糸で吊るされたその剣は、事故か誤算か狂気により、いつ切れても不思議はないのだ」と述べました。

物事をきわめて機動的に決められる独裁国家と、大事なことは何事も決められない民主主義国家と二種類しかない世界で、いったいどんなことが起こるのかまことに予測不能な世界情勢といえます。とはいえ事故も誤算も狂気もまっぴら御免であります。

勤勉で努力家の真つ当な人が成功し、生きていける世の中であってほしいと思います。

当社の基本理念・経営方針を刷新

そんな気持ちで平成30年、創立55年の節目で当社の基本理念・経営方針を新しくいたしました。

いま現在、当社の役員が投資先の皆様の前で日夜心がけていることを文字にいたしております。

東京中小企業投資育成株式会社 基本理念・経営方針

多様で特色ある中小企業の事業活動こそが、我が国経済の基盤を形成している。

東京中小企業投資育成株式会社は、中小企業政策の一翼を担う機関として、これらの中小企業の自己資本の充実を促進し、その健全な成長発展を図り、我が国経済の活力の維持及び強化に貢献する。

基本理念

経営方針

1. 投資育成制度の更なる認知度向上に尽力し、地域の中小企業にあまねく利用機会を提供する。
2. 長期安定株主として投資先企業に寄り添い、経営者を支えるパートナーとなり、透明かつ公正な健全経営を支援する。
3. 当社の事業活動に必要な経営資源を適正に確保し、自立的な政策遂行を永続する。
4. 社員全員が中小企業政策を担うものとしての誇りと使命の自覚を持ち、高い道徳観、倫理観に基づき社会的良識に従って行動する。

平成30年1月

本年が皆様方にとって輝かしい年になりますように心からお祈り申し上げます。